

④スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	建物全体	住居・宿泊
		評価点	重み係数	評価点	重み係数		解説シート の採点結果	解説シート の採点結果
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>						<b>4.0</b>		
<b>Q-1 室内環境</b>						<b>4.1</b>		
<b>1 音環境</b>		<b>3.4</b>	0.15	-	-	<b>3.4</b>		
1.1 騒音		-	-	-	-			
1 暗騒音レベル		-	-	3.0	-		対象外	3.0
2 設備騒音対策		-	-	3.0	-		-	-
1.2 遮音		<b>3.6</b>	0.70	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	-		3.0	対象外
2 界壁遮音性能	教室間をD-40以上としている	4.0	0.30	3.0	-		4.0	対象外
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	教室間をL-55以上としている	4.0	0.15	3.0	-		4.0	対象外
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	教室間をL-55以上としている	4.0	0.15	3.0	-		4.0	対象外
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-		<b>3.0</b>	<b>対象外</b>
<b>2 温熱環境</b>		<b>4.4</b>	0.35	-	-	<b>4.4</b>		
2.1 室温制御		<b>4.6</b>	0.63	-	-			
1 室温設定	冬季22~24℃、夏季24~26℃の設定としている	5.0	0.60	3.0	-		5.0	対象外
2 負荷変動・追従制御性		3.0	-	3.0	-		3.0	対象外
3 外皮性能	日射遮蔽係数=0.5以下、熱貫流率=4.0以下の設定としてい	4.0	0.40	3.0	-		4.0	対象外
4 ソーン別制御性		-	-	3.0	-		3.0	3.0
5 温度・湿度制御		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
6 個別制御		-	-	3.0	-		3.0	3.0
7 時間外空調		-	-	3.0	-		3.0	3.0
8 監視システム		-	-	3.0	-		3.0	3.0
2.2 湿度制御		-	-	3.0	-		3.0	対象外
2.3 空調方式	上下温度差に対し2~5℃、気流速度に対し0.15~0.3℃の設	<b>4.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	-		<b>4.0</b>	<b>対象外</b>
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.5</b>	0.25	-	-	<b>3.5</b>		
3.1 昼光利用		<b>4.6</b>	0.30	-	-			
1 昼光率	昼光率>2.5%としている	5.0	0.60	3.0	-		5.0	対象外
2 方位別開口		3.0	-	3.0	-		3.0	対象外
3 昼光利用設備	トップライトを設けている	4.0	0.40	3.0	-		4.0	対象外
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-		3.0	対象外
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	-	-			
1 設計照度		3.0	1.00	3.0	-		3.0	対象外
2 照度均斉度		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-		<b>3.0</b>	<b>対象外</b>
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.6</b>	0.25	-	-	<b>4.6</b>		
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.50	-	-			
1 化学物質汚染	全てF☆☆☆☆または規制対象外としている	5.0	1.00	3.0	-		5.0	対象外
2 珪物繊維対策		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
3 ダニ・カビ等		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
4 レジオネラ対策		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
4.2 換気		<b>3.7</b>	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-		3.0	対象外
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積>1/10×居室床面積としている	5.0	0.33	3.0	-		5.0	対象外
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-		3.0	対象外
4 給気・排気ダクト計画		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
4.3 運用管理		<b>5.0</b>	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御	全館禁煙としている	5.0	1.00	-	-		5.0	対象外
<b>Q-2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>			<b>3.7</b>		
<b>1 機能性</b>		<b>4.0</b>	0.40	-	-	<b>4.0</b>		
1.1 機能性・使いやすさ		<b>4.0</b>	0.60	-	-			
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-		対象外	対象外
2 情報設備への建築・設備的対応		-	-	3.0	-		対象外	対象外
3 バリアフリー計画	ハートビル法利用円滑化基準を満たしている	4.0	1.00	3.0	-		4.0	対象外
1.2 心理性・快適性		<b>4.0</b>	0.40	-	-			
1 広さ感・景観		3.0	0.50	3.0	-		3.0	対象外
2 リフレッシュスペース		-	-	3.0	-		対象外	対象外
3 内装計画	天然木を利用し、インテリアの内装計画が十分なされている	5.0	0.50	3.0	-		5.0	対象外
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.6</b>	0.31	-	-	<b>3.6</b>		
2.1 耐震・免震		<b>3.8</b>	0.48	-	-			
1 耐震性	建基法で定められた基準の20%増の耐震性を有している	4.0	0.80	-	-		4.0	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-		3.0	
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.33	-	-			
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29	-	-		3.0	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12	-	-		3.0	
3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-		3.0	
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-		3.0	
2.3 信頼性		<b>4.2</b>	0.19	-	-			
1 空調・換気設備	換気設備、空調設備の系統区分・負荷低減運転	5.0	0.20	-	-		5.0	
2 給排水・衛生設備	節水型器具の採用と系統区分	4.0	0.20	-	-		4.0	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-		3.0	
4 機械・配管支持方法	耐震クラスAとしている	4.0	0.20	-	-		4.0	
5 通信・情報設備	通信手段の多様化と浸水の恐れのない対策	5.0	0.20	-	-		5.0	

<b>3 対応性・更新性</b>			3.5	0.29	-	-	3.5
<b>3.1 空間のゆとり</b>			3.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.8mとしている	4.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		積載荷重を2900N/m2以上としている	4.0	0.31	3.0	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>				0.30	-	-	4.3
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			3.0	0.30	-	-	3.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		周辺環境に応じた配置、建物形状、建物意匠・素材、外構と住居者の尺法	5.0	0.40	-	-	5.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			4.5	0.30	-	-	4.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地元間伐材の利用、コミュニティスペース、くつろぎ空間等の敷地内通路、風道・緑地の確保、高所からの排熱	5.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		4.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							3.5
<b>LR-1 エネルギー</b>				0.40			3.7
<b>1 建物の熱負荷抑制</b>		仕様基準で152ポイントとしている	4.0	0.30	-	-	4.0
<b>2 自然エネルギー利用</b>			3.5	0.20	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	トップライトの採用	4.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
<b>3 設備システムの高効率化</b>		仕様基準で137(換気)145(空調)、性能基準で0.8(照明)	4.0	0.30	-	-	4.0
<b>4 効率的運用</b>			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>				0.30			3.5
<b>1 水資源保護</b>			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水利用システム		3.0	0.33	-	-	
<b>2 低環境負荷材</b>			3.6	0.85	-	-	3.6
2.1	資源の再利用効率		3.7	0.35	-	-	
1	躯体材料の再利用効率		3.0	0.67	-	-	
2	非構造材料の再利用効率	地元間伐材、解体木屑、下水汚泥スラグの再利用	5.0	0.33	-	-	
2.2	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.04	-	-	
2.3	健康被害のおそれが少ない材料		3.0	0.08	-	-	
2.4	既存建築躯体などの再利用		3.0	0.18	-	-	
2.5	部材の再利用可能性	躯体と仕上げが容易に分別可能としている	4.0	0.18	-	-	
2.6	フロン・ハロンの回避		4.0	0.18	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤を使っていない	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材	ODP=0,GWPが低い断熱材を使用	5.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
<b>LR-3 敷地外環境</b>				0.30			3.2
<b>1 大気汚染防止</b>			3.0	0.15	-	-	3.0
<b>2 騒音・振動・悪臭の防止</b>			3.0	0.15	-	-	3.0
2.1	騒音・振動		3.0	0.50	-	-	
2.2	悪臭		3.0	0.50	-	-	
<b>3 風害、日照阻害の抑制</b>		風害抑制対策、隣地への日影の配慮	4.0	0.15	-	-	4.0
<b>4 光害の抑制</b>			3.0	0.10	-	-	3.0
<b>5 温熱環境悪化の改善</b>			3.0	0.30	-	-	3.0
<b>6 地域インフラへの負荷抑制</b>			3.0	0.15	-	-	3.0

4.0	対象外
3.0	対象外
4.0	対象外

3.0
3.0
3.0
3.0
3.0
3.0

3.0
5.0

5.0
4.0

3.5
-----

3.7
-----

4.0
-----

3.5
-----

対象外
-----

3.0
-----

4.0
-----

3.0
-----

3.0
-----

3.5
-----

3.0
-----

3.0
-----

3.0
-----

3.0
-----

3.6
-----

3.0
-----

5.0
-----

3.0
-----

3.0
-----

3.0
-----

3.0
-----

4.0
-----

5.0
-----

3.0
-----

3.0
-----

3.0
-----

3.0
-----

3.0
-----

3.0
-----

3.0
-----

■ LR-1 用途別得点表		学校	-	-	-	面積按分 総合スコア
		5176 m <sup>2</sup>	-	-	-	
1	建物の熱負荷抑制	4.0	-	-	-	4.0
3	設備システムのERRIによる評価	-	-	-	-	4.0
	高効率化 個別設備による評価	4.0	-	-	-	
3.1	空調設備	4.0	-	-	-	
3.2	換気設備	4.0	-	-	-	
3.3	照明設備	4.0	-	-	-	
3.4	給湯設備	-	-	-	-	
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	